

■アルゼンチン：国有公社所有の火力発電所、民間に売却へ

エネルギー情報サイトは2018年5月14日、アルゼンチンの国有エネルギー会社IEASA(旧Enarsa)が所有する2基の火力発電所の売却準備に入ったことを報じた。Ensenada de Barragán ガス火力発電所(56万kW、ブエノスアイレス州)とBrigadier López ガス火力発電所(28万kW、北部サンタフェ州)が対象設備で、国の資産売却のスキームに則って進められる。本件には発電所設備や卸電力機構Cammesaとの電力供給契約の他に、発電所建設に伴う残債務、両発電所の設備増強の義務も付帯している。IEASAは民間への売却に向け、現在入札に関するパブコメを実施しているところである。